



一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会 広報委員会

【事務局】〒542-0012 大阪市中央区谷町6丁目4-8 新空堀ビル205号

TEL : 06-6767-3800 FAX : 06-6767-3801

URL : <https://daihoukan.or.jp/>

ささえあい

総会号

INDEX

- ・ 役員挨拶・紹介
- ・ 定時総会報告
- ・ ブロック活動紹介
- ・ 表彰報告
- ・ 委員会・部会活動紹介
- ・ 教育ステーション紹介
- ・ その他
- ・ 編集後記



会長からのご挨拶

安心して働ける訪問看護の実現に向けて

平素は当協会の活動に多大なるご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。
去る6月28日には、2025年度の定期総会を無事開催することができました。
ご多忙の中、ご協力いただきました皆さまに、心より感謝申し上げます。

会長 長濱 あかし

超高齢社会の進行に伴い、訪問看護には、医療・介護との連携はもとより、地域包括ケアシステムの要としての役割がますます重要になっております。一方で、訪問現場におけるカスタマーハラスメントの問題も深刻さを増しており、会員事業所の皆さまからも、「理不尽な要求や暴言等への対応に苦慮している」との声が年々多く寄せられるようになりました。訪問看護師が安心して働ける環境がなければ、質の高い看護の提供は成り立ちません。

当協会では、こうした現場の声を受け止め、他団体や行政等とともに、対策に向けた取り組みを進めてまいります。住み慣れた地域で安心して療養できる社会へ、利用者お一人おひとりに寄り添い、支え続ける訪問看護を目指して、今後も皆さまと共に歩んでまいりますので、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。末筆ながら、皆さまのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

役員紹介

副会長 宮川 松剛

一般社団法人
大阪府医師会 副会長



副会長 丸尾 明代

公益社団法人
大阪府看護協会 常務理事



副会長 高澤 洋子

よどきり
訪問看護ステーション



副会長 松井 由加里

シャローム
訪問看護ステーション



副会長 松本 康代

訪問看護ステーション
CIL豊中



副会長 山口 恵子

河内医師会
訪問看護ステーション



理事 前川 たかし

一般社団法人
大阪府医師会 理事



理事 山口 世志子

公益社団法人
大阪府看護協会 事業部
地域包括ケア担当部長



理事 濱田 正美
(三島ブロック)

高槻みらい
訪問看護ステーション



理事 村田 一美
(豊能ブロック)

フリーステーション
訪問看護ステーション



理事 金田 京子
(北河内ブロック)

医) 和敬会訪問看護
ステーションみなみ



理事 村山 真弓
(中河内ブロック)

医) 恵生会めぐみ
訪問看護ステーション



理事 長谷川 泰子
(市北ブロック)

なないろ
訪問看護ステーション



理事 大江 理恵
(市西ブロック)

暁明館
訪問看護ステーション



理事 山崎 京子
(市東ブロック)

おかもと訪問看護
ステーションつるみ



理事 竹島 祐代
(市東ブロック)

東成区医師会
訪問看護ステーション



理事 藏垣 信子
(市南ブロック)

訪問看護ステーション
ありく平野



理事 堀川 勝子
(市南ブロック)

フォーリーブス
訪問看護ステーション



理事 宮川 光代
(堺ブロック)

耳原訪問看護ステーション



理事 山尾 照代
(南河内ブロック)

訪問看護ステーション
やすらぎ



理事 津塩 昌子
(泉南ブロック)

医) 生長会ふちゅう
訪問看護ステーション



顧問からのご挨拶



一般社団法人
大阪府医師会

会長 加納 康至

この度、顧問に就任いたしました大阪府医師会会長の加納です。さて、高齢化の進展に伴い、在宅医療の需要は、今後さらに拡大していくことが見込まれております。地域医療構想においても、病床機能だけではなく、外来医療や退院後の受け皿となる在宅医療、介護との連携が重視された「新たな地域医療構想」の策定が進められており、その中で、訪問看護が果たす役割への期待がより一層高まっているところです。地域の医療・介護を支える会員事業所の皆様の活動を、協会運営を通じて、微力ながら、サポートできればと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



公益社団法人
大阪府看護協会

会長 弘川 摩子

大阪府訪問看護ステーション協会の皆さま、通常総会の開催ところよりお祝い申し上げます。2040年を見据えた「新たな地域医療構想」の概要が示されました。我々看護職の活動の場は、益々拡大していきます。しかし、現役世代の減少に伴い、限られた人材が必要となるに看護を提供していくことが求められます。いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護を提供するために今後も貴協会と連携を強化し、問題を解決していきますのでご支援をお願いいたします。



理事 菊池 真理子
(泉南ブロック)



医) 葵会
にしだクリニック

監事 津森 孝生



一般社団法人
大阪府医師会 監事

監事 森坂 佳代子



公益社団法人
大阪府看護協会

監事 雨師 みよ子



大阪府訪問看護
ステーション協会

定時総会報告

2025年6月28日(土)大阪府医師会館にて「2025年度定時総会」を開催いたしました。

当日は、大阪府健康医療部健康医療室長 中谷健志様、大阪府医師会会長 加納康至様、大阪府看護協会会長 弘川摩子様にご臨席を賜りました。

出席状況は、会場参加37施設、議決権行使書335事業所、委任状230事業所となりました。

審議事項では、第1号議案「2024年度決算報告(案)」および第2号議案「役員変更(案)」が上程され、いずれも承認されました。続いて、執行部より「2024年度事業報告」ならびに「2025年度事業計画および収支予算」について報告がありました。

2025年度のスローガンは、引き続き「地域連携で全世代の命と暮らしを支え続ける訪問看護」とされ、今年度の重点事業は以下の3点です。

1. 専門としての個々のスキルアップとキャリア形成への支援
2. 良質な訪問看護の提供に向けた運営支援
3. 他団体との連携および組織力の強化



質疑応答では、4月に発生した訪問看護師への傷害事件を受け、カスタマーハラスメントへの対策が話題となりました。これに対し、すでに作成されている大阪府の啓発チラシの配布方法の検討、カスハラに関する研修の企画、相談窓口の設置に向けた関係機関との連携、また、サービス提供側からの報告を受け付ける窓口の設置要望を行っていくとの回答がありました。



総会終了後、日本訪問看護財団 前理事長の清水嘉与子先生による記念講演が行われました。看護師の地位向上に尽力されてきた豊かなご経験に基づき、看護の歴史や制度整備の歩み、今後の展望について力強いメッセージをいただきました。なかでも「90歳の私がマンションでどう生きられるか考えたとき、訪問看護の影はまだ薄い」というお言葉は、訪問看護のさらなる普及・周知の必要性を改めて実感させられるものでした。清水先生の貴重なご講演と、訪問看護を取り巻く社会的課題と真摯に向き合った総会は、多くの学びと気づきにあふれる一日となりました。

来年度はさらに多くの会員の皆さまにご参加いただけますよう、心よりお待ちしております。

地域で活躍するブロックのリアルなレポート

OSAKA ブロック 紹介



市南ブロック

市南ブロックは阿倍野区、東住吉区、平野区、住之江区、住吉区、西成区の6区で構成されています。文教地区として発展する阿倍野区、商店街や公園が多く暮らしやすさが魅力の東住吉区、歴史的な町並みと都市開発が進む平野区、港湾の景観が広がる住之江区、歴史と自然が調和する住吉区、支え合いの福祉文化が根付く西成区など、地域ごとに多様な特色があります。それぞれの地域に根ざし、看護の質向上と連携強化を目指して活動しています。



豊能ブロック

『つながりをカタチに豊能ブロック』というスローガンを掲げ、今年もブロック活動に取り組みます。豊能ブロックの強みは、教育ステーション事業をはじめ地域活動において理事・役員全員が協力し取り組めることです。一方、連携型BCPや地域BCPなど課題も山積しています。これらの課題に丁寧に取り組み、地域の訪問看護の質向上につながるようブロック活動を継続していきたいと考えます。



市東ブロック

お顔の見える横のつながりや、関係性が希薄になっているそんな時代だからこそ、私たちは「暮らしを支え、命を守り、共に寄り添う訪問看護」をスローガンに掲げました。『何でも話せる、聞ける、助けてもらえる』頼りになる市東の仲間たちがいます。管理者の日々の悩みに寄り添い、協会の目的である「訪問看護の健全な発展を図り、府民の保健福祉医療の向上の一翼を担えるよう全管理者で取り組んでいきます。



堺ブロック

歴史と文化が豊かに息づく街「堺」では約110ヶ所の事業所がステーション協会に加盟し活動しています。年に4回のブロック会議の他に6つの区に分けて管理者会を開催し訪問看護のさらなる質向上を目指しています。事業所の数が多い地域ですが、「繋がり」「結び」を大切にし、事業所同士がお互いに向上しあえる地域を目指しています。今年はもっと繋がりパワーアップしていきます！



北河内ブロック

2025年度のスローガン『地域とつながる 地域をつなげる訪問看護』北河内ブロックは、枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、大東市、交野市、四條畷市の7つの市で構成されています。対面とZoomで、2か月毎に役員会と管理者会を開催し、情報交換を行い、横のつながりが更に強くなるようなブロックを目指していきます。また、教育ステーションをはじめ各委員会活動を、ブロックとして支援していきたいと考えています。



中河内ブロック

中河内ブロックは、東大阪市・八尾市・柏原市の3市で構成されています。いずれの市も高齢化率がほぼ同じで、高齢者の多い地域です。そのため、訪問看護のさらなる普及が必要であると感じています。こうした背景から、訪問看護の結束力を高めていきたいと考え、管理者会をはじめとするブロックの活動は、全て3市合同で実施しています。また、各活動は基本的に対面で行い、顔の見える関係を構築しています。



市西ブロック

市西ブロック（福島区・西区・大正区・此花区・西淀川区・港区）は大阪湾に面している地域が多く、河川が多いことも特徴的です。橋を渡っての訪問や渡船を利用した移動も日常的な光景です。USJや海遊館があり、現在大阪・関西万博も開催されており観光客で賑わっています。海に近い河川が多いことで水害が起きた時には被害が大きい地域でもあるので、災害委員や設置ステーションを中心にBCPIについての取り組みにも力を入れています。



市北ブロック

市北ブロックは、大きな淀川を挟んで5区で構成されています。梅田を抱え昼夜の人口差が大きい商業地域で大病院も多い北区がある一方、高齢化率が29%を超え区内に基幹病院が無く、中核病院と診療所で構成されている旭区があり、同じ大阪市内ではありますがそれぞれの区の特性に大きな差があります。

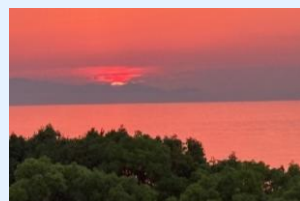
自然災害発生時に区を跨いで助け合える“市北スクラム”チーム（有志で結成）があり

「時期を問わず、お互い必要となるところにマンパワーを有効活用して事業を継続する」を目標に掲げています。



泉南ブロック

泉南ブロックのスローガンは『地域のステーション同士が支えあい良質なケアを継続する』和泉市から府下最南端の岬町の直線距離で約60km 8市4町大阪府二次医療圏で高齢化率が高いそんな地域で在宅看護を楽しんでいます。海・山に囲まれた自然の多い地域です。距離は遠い泉南ブロックではありますがその分、ブロック会では会議が終了しても井戸端会議で距離を縮めるそんな「ほっこり」するブロックの雰囲気です!! 写真は、関西空港対岸の泉南ロングパークからの夕日で「日本の夕日百選」です。



三島ブロック

当ブロックは、摂津市・茨木市・高槻市・島本町で構成されています。訪問先は、駅周辺の都会な町から、冬には専用タイヤやチェーンが必要となる山間部にまで広がっているところが特徴のひとつです。私たちは、独自の協力体制システムを作成し運用、地域のイベントに参加など、事業所の垣根を超えて協力し合える仲の良さが自慢です。今後もこの「つながり」を大切に私たちの力をブロックで発揮していきます。



南河内ブロック

南河内地域の訪問看護は、広範囲にわたる地理的特徴や山間部を抱える中で、冬季の積雪や悪天候時にも、安全に訪問を継続できるよう工夫を重ねています。また、近年は災害時における訪問体制の整備やACP（人生会議）への理解促進に力を入れ、地域住民の安心につながる研修を年2回継続的に実施しています。多職種と連携しながら、住み慣れた地域でその人らしい生活を支える訪問看護を実践しています。



令和7年度 訪問看護ステーション表彰

暁明館訪問看護ST 大江 理恵氏



この度の表彰を誠に光栄に思います。地域包括ケアシステムを訪問看護としてささえてまいります。

訪問看護STたちばな 丹後 ゆかり氏



表彰ありがとうございます。関わる皆様に感謝を申し上げ、今後も皆様と地域で協働していきます。

つじもと訪問看護ST 芋生 和代氏



併設病院と連携し自宅で最後まで過ごして頂けるように地域の方に寄り添った看護を今後も提供していきます。

公益財団法人 日本訪問看護財団表彰

八津川 栄子氏

訪問看護30年目の最高の贈り物でした。支えてくれた訪問看護の仲間・職員・法人、利用者様へ心から感謝を伝えたいです。



淡海 貴子氏

この度は過分なるご評価を賜りありがとうございます。今回の表彰を励みに今後もより一層精進して参ります。



令和7年度 個人表彰

大阪府看護事業功労者表彰

村山 真弓氏

今回の受賞で改めて皆様の支援の賜物であるという事を痛感しました。今後も身を引き締めて精進していきます。



憲法記念日知事表彰

山崎 京子氏

このたびは栄誉ある表彰をいただき、心より感謝申し上げます。これからも一層精進してまいります。





委員会活動紹介



学術委員会

今年度、新たに2名を迎え継続9名と共に学術集会を盛り上げてまいります。近年、さまざまな学術集会が開催されるなか、大阪府訪問看護ステーション協会では、「はじめての事例発表も安心してできる」ことをモットーに開催しております。抄録の書き方や発表スライドの作り方など、発表に向けたサポート体制も整えております。事例発表を通して、自らの看護を振り返ることの大切さ、そして仲間の発表から学びを得る意義を改めて感じております。今年度も、多くの皆様の熱い看護の語りを楽しみにしています。



小児訪問看護委員会

当委員会は、小児分野における訪問看護の質の向上と支援体制の強化を目的に活動しています。委員会は年に6回開催し、委員同士の情報交換や課題共有、最新の医療・看護情報の共有を通じて、小児訪問看護の実践力の向上を図っています。特に実践に基づいた学び合いを重視し、現場での課題や工夫を持ち寄ることで、質の向上を目指しています。また、12月には、実際の事例をもとにした研修を企画しており、参加者が具体的な支援の在り方を学べる内容を検討中です。こうした活動を通じて、切れ目のない支援体制の構築と、多職種との連携強化に努めています。今後も、お子さんとそのご家族が安心して暮らせる地域づくりを支える訪問看護の実践に取り組んでまいります。

精神科訪問看護委員会

当委員会では次の事項を掲げて活動を行っています。
①大阪府の訪問看護STにおける精神科訪問看護に関わる実態の把握②精神科訪問看護の資質向上に向けた活動③精神科を有する病院、地域関係職種などへの精神科訪問看護の周知と連携④精神科訪問看護の啓発活動⑤その他、目的達成のために必要な活動

各ブロックから精神科訪問看護に関連した相談事案の収集を行い相談者に返答し、より良い看護を行ってもらえるよう努めています。また、当協会のホームページでもよくある質問のQ&Aを見直し役立てるように検討しています。9月27日には精神科算定要件フォローアップ研修と題し、精神科訪問看護を学びたい方に向けて研修を行う予定となっています。

訪問看護災害対策検討委員会

地震・台風・洪水等の災害に対応するためBCPに関する研修会や設置STマニュアルの改訂を行っています。『人工呼吸器装着者の予備電源確保推進にむけた災害対策マニュアル』が2019年に作成され、災害発生時に迅速な対応ができるよう2回災害を想定した訓練を実施し、発電機蓄電池が安全に稼働できるよう努めています。今年度は大阪府内の設置STが50箇所から57箇所に増設され、更なる地域住民への災害対策強化を図れればと考えています。また、各訪問看護STの災害に対する意識向上と設置STの理解を深めるため、定期的に研修を行います。今年度は11月8日に「災害訓練とBCP訓練の違いを知る」を目的に研修を予定しています。

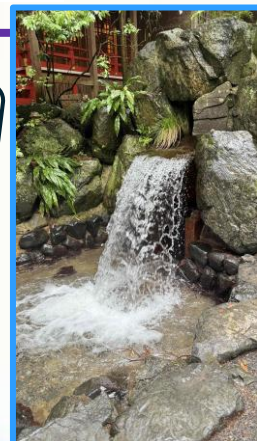


広報委員会

広報誌『ささえあい』は、平成8年の創刊以来、地域の皆さまとともに歩んでまいりました。また、昨年は大阪訪問看護団体設立を記念し、これまでの歩みを振り返る「30周年記念冊子」を作成し、配布させていただいております。今回は特集として、地域の11ブロックそれぞれの自慢や特色をご紹介します。地域ならではの魅力を改めて感じていただける内容になっています。また、より良い広報誌づくりのために読者アンケートを実施いたします。添付の二次元バーコードを読み取り、皆さまのご意見・ご感想を、ぜひお寄せください。



すてきなワンショット





部 会 活 動 紹 介



訪問看護実態調査検討委員会

大阪府からの委託で「大阪府訪問看護ステーション実態調査事業」を実施しています。今年度の活動はオンライン会議で質問票の検討を行い、8月中旬に訪問看護事業所に調査依頼を郵送、WEB入力により回収予定です。昨年度は皆様のご協力があり、有効回答は66.6%と高い回答率でした。今年度も訪問看護事業所の皆様に回答していただき、昨年以上の回答率になるようご協力よろしくお願いいたします。回答結果については内容をメンバー全員で分析し、報告書の作成を行います。大阪府は訪問看護事業所が日本で一番多い状況となっています。これからは数だけでなく質の高い看護が求められます。これからも訪問看護実態調査を継続し大阪府訪問看護事業所の現状の課題について明らかにし、課題への対策や質の高い看護につながるように活動してまいります。

新卒訪問看護師育成事業部会

訪問看護人材の確保・育成のため、「学生を対象としたインターンシップ事業」「新卒訪問看護師スタート・プログラム、セミナー」の企画・運営を行っています。インターンシップ事業では高校生、看護学生等を対象に、訪問看護一日職場体験を通じて、訪問看護の魅力を伝え、人材確保に取り組んでいます。新卒訪問看護師スタート・プログラムは、新卒者が訪問看護師として成長できるよう、入職ステーション、協会、教育機関、研修先医療機関が連携して、地域で新卒者を育てる2年間のプログラムです。2025年度は2年目9期生5名、1年目10期生8名で、4月からプログラムをスタートしました。2年間のプログラム修了時には総合事例報告会を開催し、自らが看護実践を行った事例の看護過程をまとめ、学びの集大成として発表しますので、是非ご参加ください。次世代の人材確保、人材育成を目指し、生涯学習支援に取り組んでいます。

訪問看護ステーションにおけるリハビリ対策検討部会

「訪問看護ステーションにおけるリハビリ業務の在り方の検討」「看護師と療法士との連携の推進」「訪問看護における療法士の技術支援」を主な目的として活動しています。6月20日に「訪問看護における心不全患者の看護とリハビリテーション」をテーマとした研修会を開催しました。在宅で実際に心不全患者に対して行われているリハビリテーションや、看護師の具体的な関わりについて学ぶことで、看護師と療法士の協働の重要性を改めて認識する機会となりました。近い将来に起こるとされている「心不全パンデミック」に備え、病状の早期発見や重症化の予防に向けた体制構築の一助となるよう、研修会を企画して参ります。10月には、部会発足以来毎年実施している学習交流会の開催も予定しております。今後も看護師およびセラピストにとってより良い部会となれるよう、精進して参ります。

小児訪問看護推進部会

大阪府内の在宅小児医療、難病児支援、障害者支援、医療的ケア児支援に関する各会議に担当委員が出席し、情報共有を行っています。また、大阪府小児科医会との定期会議や「大阪在宅医療を考える会」を通じて連携し、小児領域における訪問看護の普及・推進に向けた活動を行っています。小児訪問看護の対象者の大半は医療的ケア児であり、支援を行うにあたっては小児特有の知識や経験が肝要です。しかしながら、在宅医療における小児に特化した研修は限られており、看護師を対象とした研修となるとさらに僅少です。これらの現状を踏まえ、昨年度は医療的ケア児の呼吸管理に関する知識の習得と技術の経験積める研修会を開催しました。多くの方にご参加いただき、好評だったため、今年度も同様の研修会を企画しております。ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

訪問看護多機能部会

看護小規模多機能型居宅介護（看多機）を主とした看護師が関わる多機能サービスの内容について理解を深めながら、それぞれの現場で活躍する多職種が交流できる場や、研修会の企画・開催を行っています。また、ホームページを通じて「かわら版」を発行し、看多機の啓発や委員会活動の情報発信など、広報活動にも力を入れております。今後も、より一層多岐にわたる活動を積極的に進めて参ります。

まなびプロジェクト

「訪問看護師の看護実践習熟度（ラダーレベル）を可視化により、組織及び個人の生涯学習・キャリア形成を支援するとともに、訪問看護の質的向上を目指すこと」を目的として活動しています。個々の看護師が自身の訪問看護スキルを客観的に把握だけでなく、組織としても看護師全体の習熟度を把握し、効果的な人材育成計画を立てることが目標です。訪問看護師が自身の成長を実感し、やりがいを持って長く働き続けられる環境づくりを後押しする事ができるようがんばっていきます。



教育ステーション事業

大阪府訪問看護推進事業
2025年度
大阪府訪問看護ステーション協会
教育ステーション 第11期

地域の教育ステーションが様々な活動を展開しています！
是非ご利用ください！

訪問看護体験研修
(訪問看護に関心のある専門職の皆様へ)
訪問看護の現場を体験してみませんか？
病院看護師や学生さん、福祉関係の方など
様々な方が体験されています。

地域事業の支援
(病院・施設・地域団体の皆様へ)
地域で展開する事業を応援します。
お気軽に声をかけください。

コンサルテーション
(悩める訪問看護の皆様へ)
各分野における熟練者からの
アドバイスや新たな気づきが得られます。

普及啓発活動
(府民の皆様へ)
健康づくりに向けた活動や気軽に
相談できる場を企画しています。

地域での研修
(専門職の皆様へ)
地域の教育ステーションだからこそ、
地域看護者を育てています。
オンライン研修もあります。

相談事業
(ケアマネジャー・多職種の皆様へ)
訪問看護の制度って難しい？
利用方法などの相談事業を行っています。

事業の詳細・研修等のお問い合わせは直接教育ステーションへ（裏面）
一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会
〒542-0012 大阪市中央区谷町6丁目4-8 新交響ビル205号
TEL 06-6767-3800 / FAX 06-6767-3801
https://daishukan.or.jp/

「大阪府全域において質の高い訪問看護サービスを提供し、継続する！」を共通ミッションに掲げ、大阪府の補助を受けて実施している教育ステーション事業は、今年で第11期を迎えました。各ブロックの16事業所が、2025年4月から活動を開始しています。

研修や職場体験、相談事業等に加え、今年度も大阪府補助金事業「大阪府人生会議相談対応支援事業」のもと、「人生会議（ACP）研修」を実施致します。

活動内容につきましては、協会のホームページ内「教育ステーション」のコーナーに掲載しています。また、他のブロックが実施する研修にもご参加いただけます。ぜひご利用ください。

<活動内容のご案内>

- ・訪問看護に関心のある専門職の皆様へ…訪問看護体験研修
- ・ケアマネジャー・多職種の皆様へ…相談事業
- ・悩める訪問看護師の皆様へ…コンサルテーション
- ・専門職の皆様へ…地域での研修開催
- ・府民の皆様へ…普及啓発活動
- ・病院・施設・地域団体の皆様へ…地域事業の支援

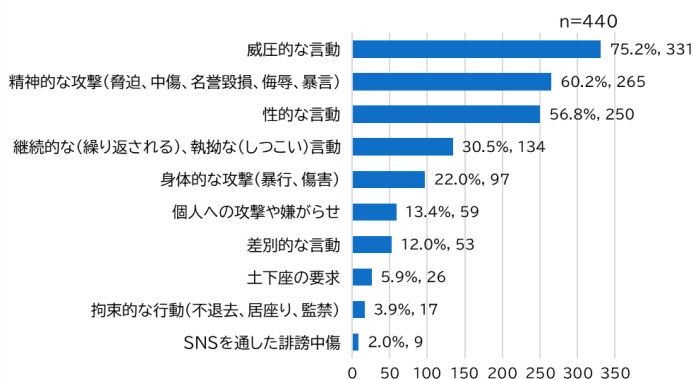


訪問看護職員等へのハラスメントに関する緊急アンケート 結果

多くのステーションスタッフの皆様にご協力いただきました！ありがとうございました！

- ・調査対象：大阪府内の訪問看護ステーション従事者
- ・実施期間：2025年4月14日(月)～4月27日(日)
- ・回答数：702件(会員626件 非会員76件)

- 1) ハラスメントを受けた経験について(n=702)
あり 440件(62.7%) なし 262件(37.8%)
- 2) どのようなハラスメントがありましたか？(n=440)



- 3) ハラスメント被害への対策において必要と考えるもの
- ・ハラスメント禁止等の制度整備・利用者への啓発等 522件
 - ・利用者等の同意が得られない複数名訪問にかかる報酬の補助 493件
 - ・行政による相談窓口の設置 422件

…など
他の詳細な内容については、協会HPで掲載していますので、ご参照ください。



看護未来展2025

開催日：4月16日(水)～18日(金)



- 協会ブース
- ・採血体験
 - ・写真展
 - ・新卒訪問看護師育成事業
 - ・協会教育プログラム紹介
 - ・動画コーナー

特別講演
自分らしい「いきかた」を伝えるための人生会議
佛敎大学保健医療技術学部
看護学科 濱吉 美穂 氏



採血体験や写真展、新卒育成事業紹介など、訪問看護の魅力を発信しました！動画コーナーも大盛況でした。採血体験看護学生は3日間でトータルなんと**150名**でした。在宅に興味がある学生さんにもたくさんいました。みなさんも、ぜひ足を運んでみてください！

入会のご案内

入会は随時受付しています。(年度：4月1日～翌年3月31日)
新規入会をご希望の施設は、当会ホームページ
WEBフォームより、手続きが可能です。

- 年会費
正会員(事業所)20,000円 賛助会員(個人)12,000円
- 入会金
正会員(事業所)20,000円 賛助会員(個人)5,000円



編集後記

今回の編集を通して、地域の11ブロックそれぞれの自慢や特色にふれる中で、大阪の訪問看護が持つ力強さと温かさをあらためて感じました。紙面から、地域の魅力が皆さまにも伝われば幸いです。今号では、アンケートを受け付けています。より良い広報誌を目指し、皆さまのお声をこれからの誌面づくりに活かしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

広報委員会一同